

建築の美

南科のイメージ作り



高集光太陽エネルギー発電路竹模範発電所竣工式(2009.12.22)

グリーン園区

グリーンエネルギーのパイオニア、南科がトップ

グリーン建築の推進

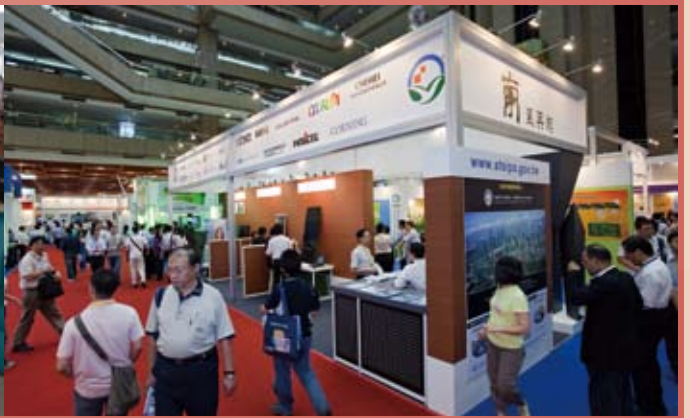
南科管理局は園区内の業者、南科実中及びコミュニティ居住民に対して4回グリーン建築宣伝指導会議を開催し、合わせて2009年3月より4月にかけてグリーン交通(自転車)による台積電及び台達電等の優良ダイヤモンド級のグリーン建築業者訪問を行いました。このほか、12月22日には「グリーン園区とグリーン工場」評価会議を開催して、園区内の業者に現行のグリーン建築の趨勢、グリーン建築処理の実務及びグリーン園区の展望を紹介しました。2010年もこのテーマを延長させ、学者を招いて関連する会議を開催します。



活力が充満したグリーン園区を訪問する自転車グループ(2009.3.4)



南科管理局局長陳俊偉が人力発電自転車を起動(2009.9.21)



2009台北国際光電週南科園区館(2009.7.23)

世界第二大、高集光太陽エネルギー発電路竹模範発電所が運営を開始

高集光太陽エネルギー発電(HCPV)路竹模範発電所は2009年12月22日に竣工して正式に使用が始められました。規模はアジア第1、世界第2(スペインに次ぐ)で、面積は約2ヘクタールあります。この中に141枚の太陽エネルギー集光パネルを設置し、総集光モジュール数は8,040セット、総発電容量は約100万ワット、1年間の生産可能電気量は約110万度で、二酸化炭素排出量を700万トン減少させることができます。設置が完成した後、高集光太陽エネルギー産業を促成し、高雄園区に集積が形成される機会があります。台湾電力も高雄県永安郷に450万ワットの太陽エネルギー発電所を設置する予定で、高雄県がグリーンエネルギー産業の重鎮になることが期待されます。

光電テーマ展、最大のグリーンエネルギー集積は南科に

南科管理局は園区内の生耀、奇美能源、大億光能、宇通光能、茂能及び台達電等グリーンエネルギー業者を招請して、2009年6月10日より12日までの台北国際光電周展期間に、南科光電双雄テーマ館を設置しました。会場ではテーマが明確で斬新だったことから、多くの参観者の耳目を集めました。

グリーンテクノロジー環境保護エネルギーを知ろう

民衆にグリーンテクノロジー及び環境保護エネルギーの重要性をさらに理解させるため、2009年9月21日より25日まで、南科管理局1階ロビーで「グリーン園区、エネルギー科学展」を開催し、陳俊偉局長が自ら人力発電自転車を起動させて活動の序幕を飾りました。科学展には大型、小型展示コーナー及びビデオ放送コーナーを計画し、展覧モジュール及び異なる展示エリアを運用することで、地方及び学校教育に最良の教材を提供しました。

管理局が先頭に立って省エネとCO₂削減を実践

政府の省エネとCO₂削減政策を実践するため、南科管理局は内政部が補助した350万元の経費で、「2009年度建築エネルギー効率向上計画オフィスビル空調システムの省エネ改善工事」を処理しました。全ての工事は2009年8月23日に終了し、2009年末までに管理局ビル駐車場の照明をT5節電型蛍光灯に変更しました。電気使用総度数は2009年度が2,475,800kw/時で、2008年度に比べて1,099,886kw/時減少し、経費も2008年度に比べて734,929元節約できました。